



News Letter

No. 30

2008年11月1日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

<http://www.labornetjp.org>

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

## 日本最強のオルタナティブ音楽グループ

# ソウルフラワーがレイバーフェスタ08に初登場!

今年もレイバーフェスタの季節がやってきた。しかし、今年はいつもと違う。6月に起きた「秋葉原事件の悲劇」、そして10月の世界金融恐慌勃発という激動の中での開催になった。こんな時代に、はたらくものはどう生きていったらいいのか。7回目を迎えたレイバーフェスタ2008は、3分ビデオをはじめ以前にも増してグレードアップ。希望と元気の出るフェスタを、みんなで作っていききたい。賛同金・3分ビデオの応募など、ぜひよろしく。また東京のフェスタでは、念願のソウルフラワーの出演が決まった。若者に絶大に人気をもつソウルフラワーは、ノリのいいリズムで「がんばろう」「インタナショナル」を甦らせる。いったいどんなフェスタになるのか、乞うご期待。

### 「ソウルフラワー」ってどんなバンド?

1993年9月に「ソウル・フラワー・ユニオン」が結成される。95年、阪神淡路大震災の被災地で「ソウル・フラワー・モノノケ・サミット」名義による「出前慰問ライブ活動」を開始。ロック的アプローチのソウル・フラワー・ユニオンと、チンドン・ミュージック的アプローチのソウル・フラワー・モノノケ・サミットの、同時並行活動が始まった。障がい者イベント、寄せ場(ドヤ街)市民運動、反戦運動の現場など日本全国の様々な祭り、北朝鮮・平壤、中国返還直後の香港、ベトナム・ダナン、フィリピン・スモーカー・マウンテン、東ティモール独立祝賀祭、ヨルダン・パレスチナ難民キャンプなど、国内にとどまらず、唄と踊りが熱望される「現場」で祭りを創出し続けている。ジャズ、パンク、レゲエ、ラテン、民謡、チンドン、ロックンロールなどなど、あらゆる音楽を精力的に雑食、それを具現化する祝祭的ライブは、日本最強のオルタナティブ・ミクスチャー・ロックンロールと評される唯一無二の存在として、国内外を問わず高い評価を得ている。今回のレイバーフェスタでは、中川敬・奥野真哉・ジゲンの三人のメンバーによる地方巡業用ユニット「ソウル・フラワー・アコースティック・パルチザン」での出演



が実現。フェスタでは「労働歌」とどまらず魂の歌を披露する。中川敬さんは、昨年ユニオンYes!キャンペーンの賛同人でもある。(写真は刃野古で歌うソウルフラワー)

### 東京フェスタ

12月20日(土) 10.30 ~ 20.30

東京ウィメンズプラザホール

詳細プログラムは10/31に決定。

### 大阪フェスタ

12月14日(日) 11.00 ~ 16.30

エルおおさか南館5Fホール

### プログラム

11:00 映画『蟹工船』上映

13:20 公募3分間ビデオ(東京編)

14:30 創作落語/ダイアン吉日

15:10 公募3分間ビデオ(大阪編)

16:30 終了予定 途中休憩を3回はさみませ

参加費 当日1200円 前売1000円

大阪3分ビデオ応募締め切り/08年11月30日

作品応募先 ビデオ工房AKAME

TEL&amp;FAX:06-4805-0234

主催:レイバーフェスタ大阪実行委員会

<http://labour.blog71.fc2.com/>

[MediR 講座のご案内] あなたも今日からメディアアクティビスト!

### - ビデオとネットを使いこなす基本技術

今年のレイバーネット総会では、「メディアアクティビストの養成に力を入れる」ことを確認しましたが、東京・高田馬場に誕生した常設スペース「MediR」(メディアール)との連携が進んでいます。以下の講座では、ビデオ撮影の基本、レイバーネット・ユニオンチューブなどへの情報・動画アップの仕方などを学びます。レイバーフェスタ3分ビデオにも対応します。ぜひこの機会にご参加ください。

とき:08年11月30日(日) 10:30 ~ 18:00

場所:メディアール教室

(東京・高田馬場7分 TEL03-6382-9646)

受講料:3000円

講師:松原明・土屋トカチ

\*締め切り11/23

申込みは<http://medir.jp> または レイバーネットへ

## 誇りをもって生きる力をもらった！ 感動呼んだレイバー映画祭2008



9月20日、レイバーネット日本が主催する「レイバー映画祭2008」が東京・全水道会館で開催された。午前の部の映画「蟹工船」では会場一杯150人が参加。午後の「今夜、列車は走る」「人らしく生きよう」「短編セレクション」「私たちは風の中に立つ」も毎回100人前後が鑑賞し、終日にぎわった。トータルの参加者は約200人で昨年を上回った。

当日のアンケート(回収総数26)を手がかりに、レイバー映画祭を振り返ってみたい。

\* \* \*

映画祭を知った媒体は、インターネット、知人から

の口コミ、チラシなどが主だった。「週刊金曜日」「週刊新社会」なども貢献している。上映された映画の中でよかった作品は、「人らしく生きよう」「私たちは風の中に立つ」「今夜、列車は走る」が上位を占めた。特に韓国トンイル紡織闘争を描いた「私たちは風の中に立つ」は、大きな感動と共感を呼び起こした。「蟹工船」については、ラストが原作と違って違和感を覚えたという声も。また「スクリーンの位置が下すぎて字幕が読みにくかった」との指摘については反省点として今後に生かしたい。

「全部の作品が良かった」「すべてを見るのは無理と思っていたが、映画にエネルギーをもらって最後まで見ることができた」などの意見や、「労働組合を身近に感じた。学生、若い人にもっと観てもらいたい」「労働運動は怖い人たちの勝手な要求との若い人の思い込みを解くには、人に密着した、生活のみえる映像の果たす力はとても強いと思います」という指摘もあった。

ある女性は、自分のつらい労働体験を語ったのち「今日の映画の中で先人先輩たちの活動に心うたれ、また、支配する側のありように深い怒りをおぼえました。そして今後、誇りを持って生きていくための大きな“力”をもらいました。私らしく生きてゆくための」と書いていた。こうした声を大切に、12月のレイバーフェスタ、そして来年のレイバー映画祭につなげていきたい。(佐々木有美)

## 「フツの仕事がしたい」全国上映へ

土屋トカチ

私にとって初劇場公開作品となった「フツの仕事がしたい」。東京と横浜では、初日を除く序盤は、正直なところ観客動員が伸びず、胃が痛くなる日々が続きました。いくら「蟹工船ブーム」とは言え、ホイホイとお客様が来てくれることはありません。ですから可能な限り、劇場へ日々足を運び、舞台挨拶やゲストを迎えてのトークをしました。

上映後、お客さんから「私もトラックの運転手。月110時間は残業してる」「私はタクシーの運転手。全く同じ状況」「うちの息子も運転手。なかなか家に帰ってこない」「運送会社の事務。配送の方はみんな歩合給です」等の、生々しい感想を寄せていただきました。

一方で、「Vシネみたいで痛快」「重い題材だが、映画として単純に面白い」という声もありました。鮮烈だった出来事は、目に涙を浮かべて「素晴らしい映画だ。オレも労組に入っているけど、こんなに闘っていない。カンパさせてくれ」と一万円札を手渡してくれるお客さんとの出会い。劇場で公開することは、人々とつながることなのだたと心底思いました。

レイバーネット日本の皆様には、上映及び宣伝活動のために多額のカンパをいただきました。この場をお借り致しまして御礼を申し上げます。

正真正銘・ワーキングプア監督を支えていただき、心から感謝

致します。東京と横浜では一旦上映が終了しますが、名古屋・大阪・神戸・京都・川崎などの劇場で上映が予定されています。また、各地方の労働組合・学校・地域での自主上映も順次受け付けております。よろしく願いいたします。

映画の問い合わせ tokachi@f7.dion.ne.jp 電話：050-3744-9745



# 韓国の運動メディア最新事情

安田 幸弘

7月のG8メディア・ネットワークの活動に参加した日本・韓国のメディア活動家が、10月上旬に韓国の扶安で行ったメディア・キャンプに参加した。

韓国の政権が保守系の李明博に変わって初めての訪韓だったが、今回の訪韓ではどこに行っても李大統領への恨みと批判を聞くことになった。特にメディアに対する李大統領の攻撃は激しい。その上、5月から7月にかけて草の根メディアを駆使した市民のキャンドル集会でさんざん酷い目にあわされた李大統領は、あらゆる手段を使ってメディア弾圧に乗り出している。

こうした政権の反撃の直撃を食らうのは、これまで政府の支援で維持されてきた市民メディアである。レイバーネット日本でもおなじみの金明準氏が所長を勤めるソウルのメディアセンターも例外ではない。とりえず来年の支援継続は確保したというものの、将来の展望は決して明るくない。

だが市民メディアがなんとか確保した今年の支援の陰には、苦渋の決断もあったようだ。その一例として、光化門を埋め尽くし、李明博退陣を叫んだ100万のキャンドルを支えた立役者は、まさに草の根メディアだったが、そのようなメディア活動を支援するはずのメディアセンターは、彼らに何の支援もできなかったという。

これまでの社会運動の枠を越えた民衆が街を埋めたキャンドル集会は、メディア運動陣営ばかりでなく、既存の労働運動や社会運動にも厳しい反省を迫っている。キャンプに参加した韓国のある活動家



韓国のソウルキャンドル集会（「チャムセサン」より）

は、「民衆を率いていくはずの前衛が民衆に追い越されてしまった」と言っていた。政権からの弾圧は、むしろ名誉だが、いわば民衆に不信任を突きつけられたような形になったことは、相当こたえているようだ。

キャンプではさまざまな課題について「日本はどうか、どう対処しているのか」という質問が聞かれた。どこか日本に似てきた韓国の社会運動の状況だが、韓国の活動家たちがこの困難な局面をどう打開するのかは、決して日本の活動家の課題と無縁ではないだろう。（レイバーネット日本 副代表）

## 「権力を笑い飛ばそう！ 風刺漫画ワークショップ」

にご参加ください

文字ばかりのチラシは読みづらいけど、漫画が入っているとつい読んでしまう、そんな経験はありませんか。難しいことを分かりやすく伝える手段として、漫画は有効なツールとなります。子どもにも読んでもらえます。一コマないし数コマでズバリ、権力への風刺を込める風刺漫画は、海外でも日本でも庶民に愛されてきた歴史があります。この風刺漫画の魅力を知ることのできる講座を、11月に開きます。ぜひご参加ください。（コーディネーター・壺花花）

講師 李其珍（イ・ギジン）

韓国で大学時代から風刺漫画を描き、卒業後フリー漫画家として活動。同志社大学大学院で風刺漫画を研究中。（左写真はイ・ギジンさん、右は彼女の風刺漫画）

日程 11月29日（土）30日（日）  
午後1時 - 5時

受講料 2日間（4コマ）6,000円 / 単発（1コマ）2,000円

場所 早稲田大学の教室



内容（1コマ2時間）

- （1）自己紹介と作品の鑑賞
- （2）風刺漫画と社会を考える（世界、韓国）
- （3）風刺漫画と社会を考える（日本）
- （4）風刺漫画を実際に描いてみよう（ワークショップ）

申込・詳細は 市民メディアセンター MediR  
TEL 03-6382-9646 <http://medir.jp>



## 新入会員紹介

「笑い」と愛」を発信したい 土本 基子

土本典昭は、アフガニスタンの新聞記事の中に四月革命を祝う兵士たちが、銃口に花を挿しているのを見つけて、感動しました。戦乱にまみれたこの国の人たちの、本当の姿、心の温かさを発見したのでしょう。それから、アフガニスタンの新聞スクラップは死ぬ直前まで続けました。私は、殺伐とした世の中で、みなさんに「笑い」や「愛」を感じてもらえるような映像や言葉を発信していきたいと願っています。

サナテレビを拡げたい 川島 実穂

京都の川島実穂と申します。イラク平和テレビ局 in Japan というグループにはいて、武力によらずにイラク占領を一刻もはやくおわらせようとイラクのひとたちがたちあげたサナ (SANA) テレビ局への支援を広げようと活動しています。レイバーネットの松原さんにも大変お世話になり、ユニオンチューブへの動画投稿もなんとかできるようになりました。会員のみなさま、これからもよろしくおねがいいたします。

蟹工船の取材がきっかけ 柴田 真理子

毎日新聞の生活家庭部で記者をしております。蟹工船エッセーコンテストの山口さんに取材をさせていただいたときに、レイバーネットのことを聞きました。いろいろなところで日々いろいろな人が、それぞれの問題に向き合っているんだと思うと勇気がでます。普段は食べ物の取材などしていますが、働くことを生きる土台として少しずつ考えて勉強していきたいと思えます。

東京・練馬で平和運動 小林 登美夫

現在の活動状況は(1)平和を育てる大泉9条の会 会員 ピースシアターの担当 主な上映作品「戦ふ兵隊」「日本の悲劇」「戦争と平和」「軍旗はためく下に」「ドキュメント沖縄戦」「靖国問題」「軍隊のない国」等(2)練馬9条の会(3)文化の会(4)住基ネット差し止め訴訟東京原告団の一人として高裁に訴訟中(5)外環道に反対練馬の会、などです。

労働組合の再生をめざして 合田 享子

「合田さんを支える会」と「ユニオン支え」に所属しています。名古屋の地域労組、「愛知地域労働組合きずな」は1981年に不安定雇用の労働者の地位向上などをめざして結成された先駆的な組合でした。しかし、専従の交代によって変質し、パート職員合田さんの解雇事件を引き起こしました。私達は、「愛知地域労働組合きずな」が嫌がらせをやめ、合田さんが復職できるようにすることを求めます。労働者の

もう貧乏人から取るな!



マンガ：壺花花

信頼を回復して、非正規労働者が安定雇用を得られるよう、懸命に取り組むことのできる、まともな組合になることを求めます。詳細は、[http:// kizuna-saiban.seesaa.net/](http://kizuna-saiban.seesaa.net/)

「広河隆一写真展」で活動 宮西 いづみ

NPO法人「広河隆一写真展事務局」の事業主兼被雇用者。納得のできる仕事を納得のいくだけすると、フルタイム労働者なみの勤務時間で、月収4万円。行政とつるまないNPO法人の財政の限界。周囲のNPOの多くは、子育て、介護、防災、など、本来行政が最優先すべき仕事を、委託費や補助金という涙金で肩代わりさせられて行政経費の軽減という公務員の数減らしに貢献している。住民の受けるサービスは当然低下。そのからくりが、委託事業とも補助金とも無縁の平和系NPOにはよく見える。そして、これは労働市場の問題、雇用問題だ、と感じている。

人として生きられる社会を 高瀬 幸子

活動は、イラク平和テレビ局 in Japan 首都圏で事務局をしています。今年の映画祭はとて素晴らしいでした。普段映画館で観ることのできない作品も多く、どの作品も心に残りました。グローバル資本は人権をかなぐり捨てるとな方向に向かっていますが、それに抗して多くの市民が平和・人権という最も大切で、本来当たり前保障されるべきものを闘い続けている事を知ることができました。私が活動しているのもイラクの今をもっとたくさんの人に知ってほしいという事が根底にあります。その活動を通して日本に住んでいる私達の、人として生きられる社会に変えていけるという共通のものがあるからです。是非一度HPを訪問して下さい。映像の持つ力で、国際連帯し、人らしく生きられる社会に変えていきましょう! <http://peacetv.jp/>

### レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 375 名

ウェブアクセス 1日 1500

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000 円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本  
 郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403  
 レイバーネット日本事務局  
 入会申込用アドレス [apply@labornet.jp.org](mailto:apply@labornet.jp.org)  
 電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578